

できる・できる・できる

校訓：「自主・友愛・飛躍」

令和3年9月22日

No.29

長崎市立戸町中学校

文責 校長 大橋 功

<http://www.nagasaki-city.ed.jp/tomachi-j/>

理解したいという気持ちを大切に！

～ 校内研究授業実施 ～

21日(火)の3校時に3年1組において、数学科担当の本多淑恵先生が研究授業を行いました。今回の授業は、全職員参加型による代表者授業です。

授業単元は「2次方程式」で、応用問題を読み、根拠を明確にして2次方程式を立式し解を求めます。授業では、立式する過程で問題文から必要な情報を収集できたか。また、

必要な情報を、文字を使って表し、図形の性質や面積の公式を利用して立式できたかを検証しました。いわゆる、数学的な思考力・判断力・表現力・知識・技能についての検証ということになります。生徒たちの実情に即して、指導するうえでの方策等を含め、いかに授業を展開していくか学び合いました。もちろん、そのことは、生徒たちに還元され、学力向上に生かされなくてはなりません。我々教師も日々研修を重ね、指導力向上を目指します。



●国語科講師 渡辺 真季(わたなべ まき)先生

今日から3年生の国語を担当します渡辺真季です。趣味は弓道です。高校生の時、袴(はかま)にあこがれて始めました。弓道には、「心技体」という言葉があります。精神、技、そして、体幹が整ってはじめて正しい射法が成立するというものです。自分の心と向き合って鍛錬を重ねる所に奥深さがあります。興味がある人は高校の部活動見学などでのぞいてみてくださいね。



戸町中学校の第一印象は、挨拶が素敵で、笑顔があふれている元気な学校だと感じています。これから皆さんと一緒にその笑顔の花をたくさん咲かせられたらと思っています。よろしくお願いします。

●家庭科実習生 菅 千遥(すが ちはる)先生

初めまして 長崎大学教育学部大学院生の菅千遥と申します。中学校の家庭科教師を目指して大学で学んでいます。戸町中学校では、家庭科の時間を中心として学校教育について沢山のことを学びたいと思います。よろしくお願いします。



新たな2人の仲間を紹介

21日(火)に本校に新たな仲間が着任しました。後に自己紹介がありますが、少しだけ補足します。

渡辺先生は、病気治療中の上原先生の代わりとして、3年生国語科の授業を担当します。渡辺先生の主免許は高校の国語科で、中学校だけではなく県立高等学校の勤務経験もあります。

菅先生は、大学院生なので、通常の教育実習とは違い、自身で実習テーマを決めて学び、前期は、週一回の実習を11月まで、後期は来年度4月から同じように、週一回を3か月間実施することになります。

学生時代は吹奏楽部に所属していたそうです。放課後は大学に戻るようになるのですが、機会があれば吹奏楽部の練習に参加できるといいですね。

心の種

今回のテーマは「季節を感じて」です。



昨日は、「中秋の名月」でしたが、残念ながら夕方頃から雷が鳴り出し、まん丸のお月様を見ることはできませんでした。個人的には、「秋」は日本らしい“和”の感じがするので、とても好きな季節です。コロナ禍ではありますが、季節の節目にふさわしい自然の草花や果実や穀物などの「旬」をお供えし、無病息災を願うという日本(各地域)ならではの風習を通して季節を感じる習慣を子ども達にも味わって欲しいですね。

また、科学技術や高度情報化社会の昨今ですが、月面に見えるクレーターが、時にはウサギに見えるそんな童心をいくつになっても大切にしましょう。